

【取組主体：新建自治会】

概要

新建団地では、地域が独自に雨量計を設置し、その観測データを見ることができるポータルサイトの立上げや、災害時に地域住民がどこに避難したか、支援が必要かなどを把握する安否確認システムの構築を行いました。

取組内容

➢ 新建団地は平成26年8月20日の豪雨に伴う土砂災害により甚大な被害が発生しました。これを教訓に、地域住民の防災意識を向上させ、コミュニティの活性化を図ろうとする気運が高まりました。

➢ 地域独自に雨量計を1か所に設置し、パソコンやスマートフォン等で地域のポータルサイトにアクセスすると、リアルタイムで観測データを見ることができます。これで降雨状況を確認し、各自において避難するかどうかを判断することができます。

➢ 安否確認システムは、サイトへアクセスできるQRコードを記載したカードを各個人に配付します。それを読み取ると各個人の専用ページにアクセスし、各自が、どこに避難したか、支援が必要かなどを入力します。その入力した情報は一覧で確認することができます。



＜安否確認システムの構築ための費用＞

費用

初年度（平成27年度）約10万円、2年度目以降5～7万円（システム構築・保守の委託、サーバー・パソコン・プリンターレンタル、カード作成）
 ※QRコードを記載したカードの作成（約250枚）
 ※初年度は、全額市の補助金「まるごと元気」住宅団地活性化補助金により対応。
 2年度以降は、市の補助金と自治会費で対応

ポイント

- ★ システムの構築は、システム構築の専門のスキルを持っている地域住民が、地域のために協力してくれました。
- ★ システム構築後には、システムを使った非難訓練を実施し、地域住民の防災意識の向上を図るとともに、災害時の迅速な対応の訓練を行っています。